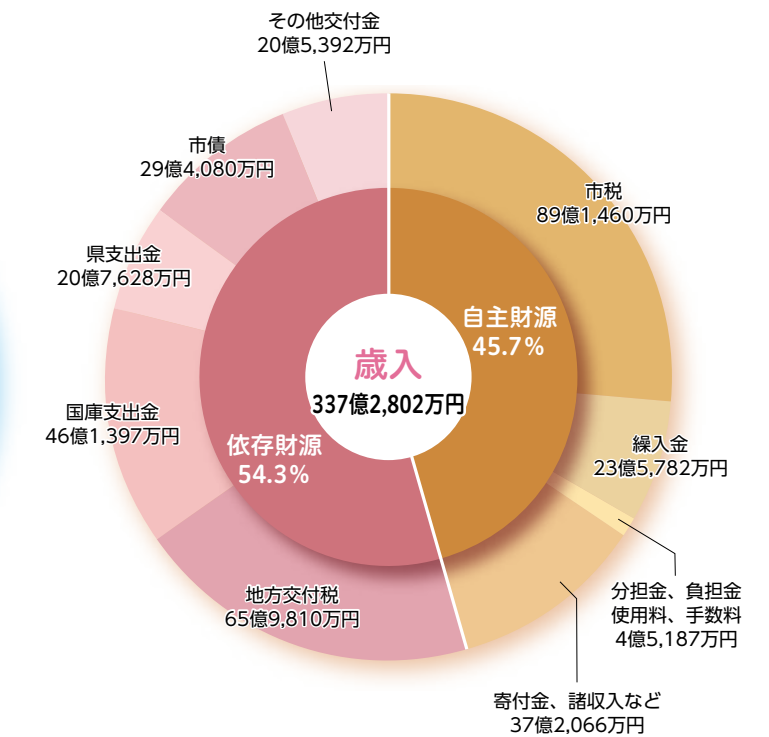
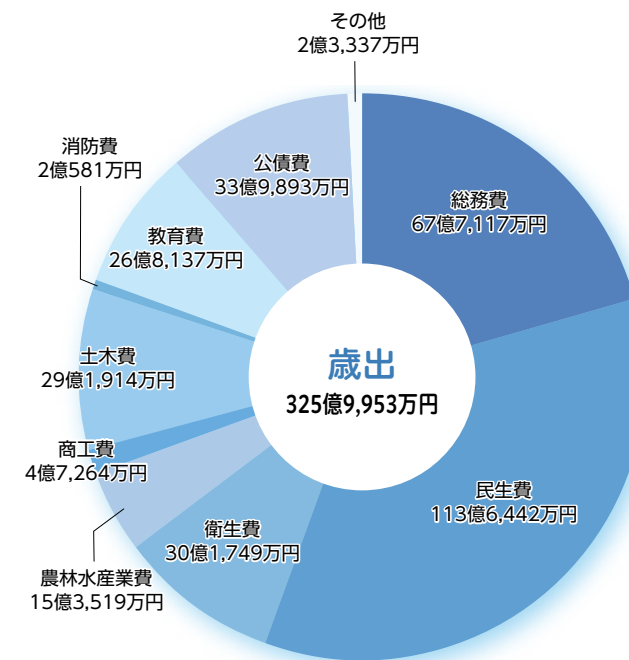


令和 5 年度 決 算

問い合わせ先 総務課 財政係 ☎23-3900 ㊟23-3920

一般会計歳出の内訳

一般会計歳入の内訳



令和5年度の一般会計歳入決算額は、337億2802万円（前年比8.3%増）、歳出決算額は、325億9953万円（前年比8.3%増）でした。歳入歳出の差し引き額は11億2849万円翌年度へ繰り越した事業の財源を除いた実質収支は、9億6231万円の黒字でした。

歳入では、「がんばれ観音寺応援寄附金（ふるさと納税）」の増加により、寄付金が5億4346万円増加しました。また、市税や地方交付税なども増加し、総額は前年度と比較して25億7971万円増加しました。

歳出では、観音寺市生活応援券発行事業の実施などにより、総務費が10億3360万円、豊浜認定子ども園建設事業や子ども医療費助成事業などにより民生費が13億2324万円増加しました。

今後も健全な財政運営を維持するため限られた財源の効率的な運用と、財源の確保に努めていきます。

決算については市ホームページで、決算書は、市役所総合案内所や各支所で閲覧できます。

財政用語解説

■歳入

市税…市民税、固定資産税など
繰入金…基金を取り崩したお金など
地方交付税…一定の行政サービスを確保するため、人口や税収に応じて国から交付されるお金
国庫・県支出金…国や県から使用目的を特定して交付されるお金
市債…施設建設や道路整備など多額の費用が掛かる場合に、国や銀行などから借りるお金

■歳出

総務費…戸籍管理や選挙の執行、統計などの経費
民生費…障がい者や高齢者、子どもの生活支援、生活保護などの経費
衛生費…ごみ処理やし尿処理、健康診断、保健指導などの経費
農林水産業費…農林水産業の振興などの経費
商工費…商工業や観光の振興などの経費
土木費…道路や公園、市営住宅などを整備する経費
消防費…消防活動などの経費
教育費…学校教育などの経費
公債費…借入金の返済に充てられる費用

特別会計

特別会計とは、特定の目的のために設置し、一般会計とは区分して経理する会計のことです。8つの特別会計があり、それぞれ保険料や使用料などの特定の収入で事業を行っています。

特別会計名	収入額A	支出額B	差引額A-B
施設貸付事業	4億2,158万円	4億2,158万円	0円
国民健康保険事業	68億5,839万円	68億5,149万円	690万円
国民健康保険伊吹診療所	5,339万円	5,092万円	247万円
後期高齢者医療事業	10億7,523万円	10億7,115万円	408万円
介護保険事業	58億 218万円	55億2,808万円	2億7,410万円
介護予防サービス事業	3,116万円	3,116万円	0円
栗井財産区	331万円	74万円	257万円
栗井坂瀬山林	1,608万円	13万円	1,595万円

公営企業会計

地方公営企業法が適用される事業を一般会計と区分して経理する会計のことで、下水道事業（公共下水道事業、農業集落排水事業）が該当します。

公営企業 会計名	区分		決算額	差引額 A-B
下水道事業	収益の収支	収入額 A	12億1,251万円	3,451万円
		支出額 B	11億7,800万円	
	資本の収支	収入額 A	4億1,504万円	△5億4,097万円
		支出額 B	9億5,601万円	

資金不足比率

公営企業会計の資金不足額の事業規模に対する割合をみる指標です。令和5年度決算における比率は、基準値を下回っています。

(単位：%)		
特別会計の名称	令和5年度 決算	経営健全化基準
下水道事業	－	20.0

※資金不足比率は、資金不足額がないため「－」と表示。

令和5年度に実施した主な事業

 総務費 統合型地理情報システム導入事業 939万円 地理空間情報などを電子データ化 空き家活用促進事業 1,229万円 空き家バンク制度の運用、空き家リフォームの補助	 民生費 豊浜認定こども園建設事業 11億9,486万円 令和6年4月の開園に向け施設建設 出産・子育て応援交付金事業 3,242万円 妊娠から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援と経済支援
 衛生費 乳児紙おむつ等支給事業 863万円 おむつなど衛生用品と交換できる助成券（紙または電子チケット）を交付 再生可能エネルギー整備事業 970万円 ゼロエネルギーハウスなどへの補助	 農林水産業費 常磐地区排水対策事業 2億898万円 農業用排水路を整備 伊吹地域漁港整備事業（特定） 1億4,312万円 伊吹漁港の港内施設などを整備
 商工費 中小企業振興事業 2,612万円 合同就職説明会の開催や創業者への支援など 工場等立地促進事業 2,255万円 新たに工場などを立地した企業への助成	 土木費 スマートインターチェンジ整備事業 2億4,726万円 令和7年度末の供用開始に向けた整備 柞田川右岸線改築事業 3,192万円 企業立地に伴うアクセス道の整備
 消防費 消防屯所建設事業 1,961万円 市内分団屯所の計画的な建設 防災行政無線整備事業 198万円 防災行政無線のデジタル化に向けた実施設計	 教育費 第2運動公園整備事業 2,967万円 第2運動公園整備に向けた実施設計作成など 新学校給食センター建設事業 2,884万円 整備に向けた事業契約を締結、基本設計作成、実施設計について協議

問い合わせ先 企画課 企画調整係 ☎23-3917 ⑤23-3920

健全化判断比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、令和5年度決算における観音寺市の財政状況を判断する各比率で、いずれも基準値を下回っています。

(単位：％)

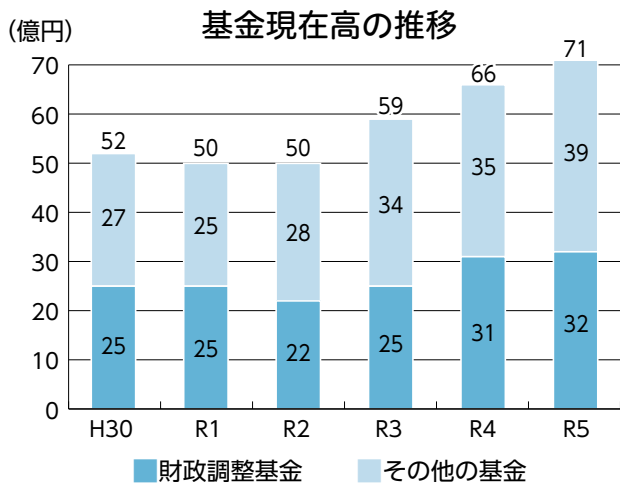
健全化判断比率	令和5年度 決算	早期健全化 基準 (黄信号)	財政再生 基準 (赤信号)
実質赤字比率 (一般会計等の赤字の程度をみる指標)	—	12.69	20.00
連結実質赤字比率 (一般会計等及び公営企業会計を含めた市全体の赤字の程度をみる指標)	—	17.69	30.00
実質公債費比率 (市全体及び一部事務組合を含めた公債費（借入金の支払い）の標準財政規模に対する割合をみる指標)	9.9	25.0	35.0
将来負担比率 (市全体、一部事務組合、公社・出資法人などを含めた将来的な負担の標準財政規模に対する割合をみる指標)	32.0	350.0	

※実質赤字比率および連結実質赤字比率は黒字のため「—」と表示。
早期健全化基準については、令和5年度の基準となります。

基金現在高(一般会計)

基金は、家計における貯金です。基金には、年度間の財源の不均衡を調整するための財政調整基金や、特定の目的のために積み立てている特定目的基金などがあります。

令和5年度末現在高は、前年度末より5億円増加しました。



地方債現在高(一般会計)

令和5年度末の地方債現在高は約330億円で、前年度より約3億円減少しています。

合併特例債

合併後の市町村の一体性の確立や均衡ある発展などを目的とした事業を実施するために発行する地方債です。元利償還額の70％が数年後の地方交付税に算入されます。

臨時財政対策債

国から交付される地方交付税の不足分を補うために、地方公共団体が発行する地方債です。償還額の全額が数年後の地方交付税に算入されます。

